

大学院「システムソフトウェア特論」(H25 年度前期) (試験問題)

- ・ 試験日：2013年7月22日(月) 10:30-12:00, シス情大講義室(3F)
- ・ 全ての資料は持ち込み OK (但し, パソコン, 携帯電話 (含む スマフォ類) は使用禁止).
- ・ 解答用紙は4枚なので, 裏も使用してよい.

(1) マルチプロセッサのアーキテクチャをメモリアーキテクチャの観点から分類し, その各々について, OSが考慮しなければならない問題を述べよ.

(2) 共有メモリ型マルチプロセッサにおいて, (初期の) UNIX を実装したとする. 本 UNIX では, 1つの仮想アドレス空間と1つのコンテキストを一体化させた UNIX プロセスのみをユーザに提供しているとする. この環境において, 並列処理の軽さの観点から, 問題点を述べよ. また, 軽い並列処理環境を提案し, その利点, 欠点を述べよ.

(3) バリア同期において, 次の問いに答えよ.

1) 別紙(裏面)に示すアルゴリズムTは正しいか, 正しくないか, 証明せよ. このとき, バリア同期は次の2つを満たさなければならないとする.

- ・ バリア同期の働きをする (足並みをそろえる)
- ・ 再初期化問題に対処している.

また, プロセッサ速度に関して何の制限もないとする. アルゴリズムT内の各ブロックはむろん, クリティカルセクションである.

2) バリア同期を用いる具体例を示せ.

(4) キャッシュが装備されている共有メモリ型において, 単にテストアンドセット命令を用いたスピンドックでは, スピードの観点から効率が悪い. なぜか? その理由を述べよ. また, これを改善した方法を示せ.

(5) 2つの周期タスク P_1, P_2 のタスクセットを考える. ここで, $P_1=(1, 2)$, $P_2=(2, 5)$ とする. 但し, (実行時間, 周期). このとき, このタスクセットに関して, 次のリアルタイムスケジューリングでスケジュール可能か否かを判定せよ. また, スケジュールの時間的推移を示せ.

- 1) レートモノトニックスケジューリング (Rate Monotonic Scheduling)
- 2) EDF スケジューリング (Earliest Deadline First Scheduling)

(6) 高度道路交通システム (ITS: Intelligent Transport Systems) に, 組込みシステムがどのように関係しているか? 組込みシステムの役割を述べるとともに, ITS と組込みシステムとの関連について, 議論せよ.

共有変数: count:=0;
N: 参加プロセス数

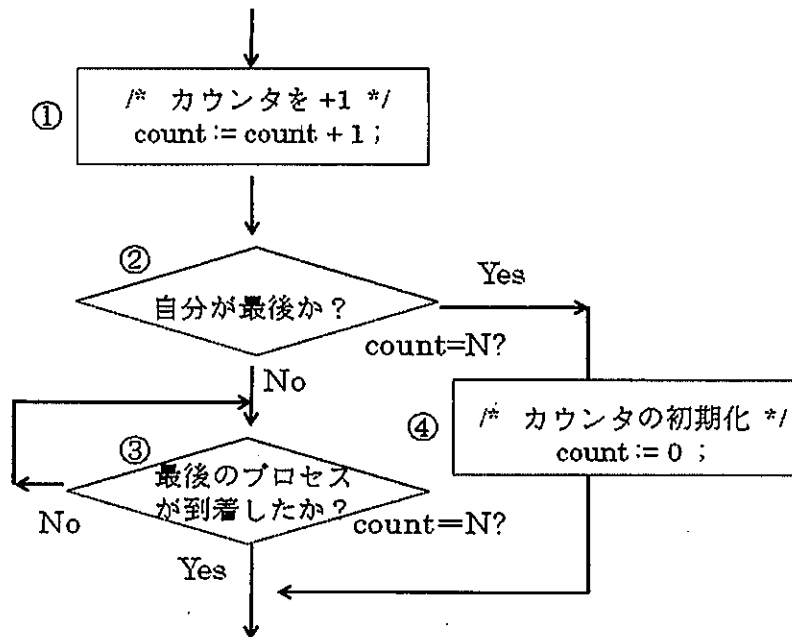


図 アルゴリズム T